八戸工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	表現法(5004)

科目基礎情報

科目番号	0088	科目区分	一般 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	産業システム工学専攻環境都市・建築デザインコース	対象学年	専2
開設期	前期	週時間数	1
教科書/教材	伊勢田哲治ほか『科学技術をよく考える』名古屋大学出版会		
担当教員	戸田山 みどり		

到達目標

科学技術に関して意見の分かれる諸課題について、対立する意見を検討し、自分たちで議論することを通して、論点を整理し、自分なりの意見を述べる方法を学ぶ。各テーマごとに、教科書等を参考にしながらテーマの要点を確認し、グループに分かれて意見交換をする。クリティカル・シンキングの技法を学ぶとともに、本科で学んだ科学技術社会論の基礎知識を応用できるようにする。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	建設的な討論ができる。	目的にあった効果的な討論ができる。	目的に応じた討論が成立しない。
評価項目2	論理的な説明が的確にできる。	論理的な説明がおおむねできる。	論理的な説明ができない。
評価項目3	多様な意見を整理して紹介できる。	多様な意見を紹介できる。	多様な意見をみとめることができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 DP1 学習・教育到達度目標 DP5
地域志向 ○

教育方法等

概要	討論を楽しむことを勉強する。世の中には賛成と反対に分かれて議論することがある。議論をすすめるうえで、ふまえるべきことをふまえないと、議論がかみ合わず、徒労に終わってしまうことがある。徒労に終わらせないために、どうすればよいのかを学ぶ。
授業の進め方・方法	討論は、「導入、事実と状況の確定、反対意見、問題の所在、結論」から成り立つ。事実を踏まえ、どことどこが対立しているのかを確定し、それに対して自分はどんな見解を持つのかを明らかにする。
注意点	討論には積極的に参加すること。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業の概略。「年齢を運転免許の取り消し条件にすべきか」の事実確認	
		2週	テーマ１　予防原則	
		3週	テーマ１　原因推定の方法	
		4週	テーマ２　自由主義とパターナリズム	
		5週	テーマ２　二重盲検法	
		6週	テーマ３　異文化コミュニケーションとしての科学コミュニケーション	
		7週	テーマ３　シミュレーションの信頼性	
		8週	テーマ４　科学技術政策の変遷	
	2ndQ	9週	テーマ４　「予断」の必要性	
		10週	テーマ５　動物としての人間	
		11週	テーマ５　功利主義とマクシミン規則	
		12週	それぞれに新しいテーマを見つける	
		13週	情報の整理	
		14週	討論	
		15週	グループごとの発表	
		16週	まとめ	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	70	30	0	0	0	100
基礎的能力	0	35	15	0	0	0	50
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	35	15	0	0	0	50